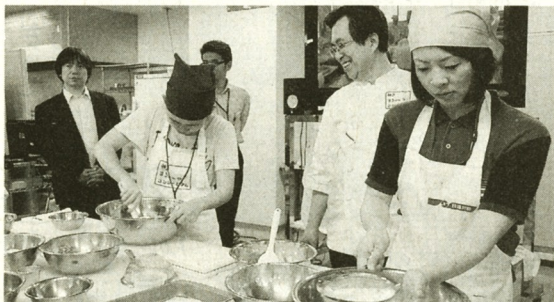


障害ある人に 菓子作り伝授

講習始まる

障害のある人が菓子職人（パティシエ）から洋菓子の作り方を学ぶ「神戸スイーツ・コンソーシアム」が25日、神戸市東灘区の日清製粉東灘工場で始まった。講師がいる愛知県一



宮市とインターネット回線で結び、受講生が映像を見ながら菓子作りに挑戦した。写真。

障害者の就労につなげようと、社会福祉法人「プロップ・ステーション」（神戸市東灘区）と同社が2008年から開催。今年は同工場のほか、愛知県一宮市の修文大と同県あま市の授産施設「びいえん」、岡山市の西日本調理製菓専門学校のうち2会場を使って6回の講習がある。

初回のこの日は同大学と同工場が会場。同工場では、神戸市内などの授産施設で調理を担当している7人が、焼き菓子作りを体験し、大型モニターの画面を通して、同大学にいるパティシエから小麦粉の量り方や生地混ぜ方などを教わった。